

令和8年（2026年）度施策評価シート

令和 8 年 6 月 30 日

評価者	文化観光部長 高橋 謙司
評価者	都市調整部長 古賀 久貴

○ 施策の概要

総合計画上 の位置付け	分野	0-(4) 歴史的遺産と 共生するまちづくり	施策の方針	0-(4) 歴史的遺産と共生するまちづくり
----------------	----	---------------------------	-------	-----------------------

1. 前年度(評価対象年度)の当該施策の目標

文化観光部

地域活性化計画を推進することで、国内外へ日本遺産をテーマとした鎌倉の魅力発信事業を展開するとともに、日本遺産の継続認定を目指す。また、構成文化財を活用した分散観光や宿泊型観光に係る事業を推進することで、オーバーツーリズムの未然防止・抑制や観光消費額の向上といった本市の観光課題解決を図る。

都市調整部

近年の世界遺産登録を取り巻く環境や、より効果的な取組の方向性等について専門家に意見を聞くなど、世界遺産登録に結びつく新たなコンセプトの構築に向けた調査・研究を行う。
 神奈川県教育委員会が主催し、県内の中学生を対象として実施する「文化財保護ポスター事業」を共催し、世界遺産登録に係る啓発を行う。
 鎌倉市歴史的風致維持向上計画の推進を図るため、同計画に登載した構成事業の進行管理を行う。
 社会資本総合整備計画(街なみ環境整備事業)を活用し、事業を推進していくとともに、官民連携の推進について検討する。
 鎌倉市歴史的風致維持向上計画の最終評価の実施及び令和8年度から次の10年間の第2期計画の策定を進める。

2. 投入コスト

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	551	895	3,307	12,006	25,084	24,293
人件費	16,993	17,016	15,732	24,228	25,235	26,230
総事業費	17,544	17,911	19,039	36,234	50,319	50,523

3. 施策の方針にひもづく事務事業とその評価結果

重点 事業	整理 番号	事業名	法定 受託 事務	事業費 (千円)	人件費 (千円)	総事業費 (千円)	事業 評価	貢 献 度	最終 評価
重	文観-14	日本遺産事業		23,575	13,253	36,828	現状維持	A	現状維持
	都調-02	世界遺産条約登録事業		360	4,694	5,054	現状維持	B	現状維持
	都調-03	歴史的遺産と共生する まちづくり推進事業		358	8,283	8,641	現状維持	B	現状維持

4. 評価対象年度の主な実施内容

文化観光部

・日本遺産の再審査における手続きを行い、日本遺産の継続認定を受けた。
・ツーリズムEXPOや日本遺産フェスティバル等のイベントに出展し、鎌倉の日本遺産に関するPRを行った。
他、鶴岡八幡宮において日本遺産シンポジウムを開催し、地域住民への認知度促進に努めた。
・日本遺産いざ鎌倉観光案内所の運営、日本遺産ガイドツアーの実施や日本遺産を紹介した朝夜観光ホームページの掲載、教育旅行動画の作成により、オーバーツーリズムの未然防止・抑制や観光消費額の向上に資する分散型観光を推進した。

※実施できなかった事業とその理由

都市調整部

・世界遺産登録に結びつく新たなコンセプトの構築に向け、近年登録された他の世界遺産の事例、世界遺産登録の情勢等について、調査・研究を行った。
・神奈川県教育委員会が県内の中学生を対象として実施する「文化財保護ポスター事業」を共催し、世界遺産登録に係る啓発を行った。
・鎌倉市歴史的風致維持向上計画の推進を図るため、令和3年度に国の認定を受けた変更計画に基づき、計画に登載した構成事業の進行管理を行うとともに、令和8年度を始期とする第2期計画の策定に向け検討調整を実施した。策定にあたっては、市民意向調査や歴史まちづくりウォークを実施し基礎資料とした。また、第1期計画の最終評価のため、主要な事業に関し外部有識者による評価を実施した。
・事業財源の確保のため、国支援事業である社会資本総合整備計画(街なみ環境整備事業)を活用し、計画に位置付けた事業の推進を図った。

※実施できなかった事業とその理由

・社寺等をはじめとする関係者等への聴き取りや根拠資料の収集、国との調整に期間を要したため、歴史的風致維持向上計画(第2期計画)策定時期を延長し、令和8年9月までに国の認定を受けることとしたため、歴史的風致維持向上計画(第2期計画)の策定支援業務期間を6か月延伸した。

5. 主な実施内容と施策の達成状況の分析を踏まえた評価

※主な実施内容と目標とするまちの姿の関係(達成状況とその理由)

「施策の方針にひもづく事務事業とその評価結果」における貢献度の分析

文化観光部

日本遺産に関する各種イベントへの出展、イベントの開催による周知活動や観光に関するHPのリニューアル等を実施した。また、日本遺産の認定継続がなされたことから、歴史的遺産と共生するまちづくりの体制が整った。

都市調整部

世界遺産登録を達成するコンセプトの構築には至っていないが、鎌倉の貴重な文化財を未来へ守り伝えるために必要な取組として、調査・研究を着実に実施した。歴史的風致形成建造物保存改修事業については、令和7年度までに国の支援を得て保存・修理に必要な検討を進め、令和8年度以降の工事実施につなげるための準備を進めており、「歴史的遺産と共生するまちづくり」の推進に向けて一定の成果を上げている。引き続き、世界遺産登録に向けた調査・研究や歴史的風致形成建造物保存改修事業の計画的かつ効果的な推進に努める。

6. 今後の方向性

文化観光部

鎌倉ミライ共創プラン2030 該当施策	3-15 歴史
令和5年度から令和7年度にかけて、本市の日本遺産の再審査に向けた事業計画の策定や組織整備等を実施し、令和7年12月に日本遺産の継続認定となった。今後も、シンポジウム等の企画開催、日本遺産関連イベントへの出展、日本遺産ロゴマークを活用した補助事業、日本遺産「いざ、鎌倉」観光案内所の運営によるPR活動を行い、市民や来訪者に鎌倉特有の歴史遺産や文化遺産の価値や魅力を理解し、親しんでもらえるよう日本遺産の構成文化財に触れる機会を提供していく。	

都市調整部

鎌倉ミライ共創プラン2030 該当施策	3-15 歴史
・近年の世界遺産登録を取り巻く環境や、より効果的な取組の方向性等について専門家に意見を聞きながら、登録に結びつくコンセプトの構築に向けた調査・研究を行う。 ・県内の中学生を対象として実施する「文化財保護ポスター事業」を神奈川県教育委員会と共催し、市内の教育機関等とも連携し、世界遺産登録に係る普及・啓発を進めていく。 ・鎌倉市歴史的風致維持向上計画に登載した構成事業の着実な推進を図るとともに、歴史的風致形成建造物の追加指定を行うことで「歴史的遺産と共生するまちづくり」を進めていく。 ・事業を着実に推進していくため、社会資本総合整備計画(街なみ環境整備事業)に加え、歴史的風致維持向上計画認定都市に特化した国の新補助制度(地域の観光資源充実のための環境整備推進事業)の活用を図るとともに、歴史的風致維持向上支援法人の指定を行うなど、官民連携の推進について検討していく。 ・令和8年度は、鎌倉市歴史的風致維持向上計画本計画(第1期計画)の計画期間の最終年度であることから、最終評価を実施するとともに、令和8年10月からの次の10年間を計画期間とする第2期計画を策定し、国の認定を得ていく。	